

う。この表現はテレビのコマーシャル中に飛び出してきた表現である。あるサプリメントを摂取すると簡単にダイエットすることができることを宣伝していた。多くの食べ物に Fat free の売り文句がついている。砂糖の塊のようなキャンディから喉が渇いてしょうがないビーフジャーキーまで、Fat Free の表示のあるものを選ぶ前に甘いものをやめるほうがいいと思うのだが...。(写真イ)

Cultured milk

牛乳を購入した時に、貼ってあった表示にあったものである。普通の牛乳とは味ほとんど変わらない。

Kwik Kopy Printing

シカゴのメイン通りを歩いていたときに見つけた印刷屋の看板。Quick Copy を音から綴ったものであろう。

Never settle for less than YOUR BEST

セントポールのバトル・クリーク小学校を視察した時に、エリートクラスを見せてもらった。他の教室とはやや雰囲気異なっており、児童が高い目標に向かって進んでいくよう促されていた。

No adults allowed unless accompanied by children

サンフランシスコの公園に掲げられていた看板である。フェンスで囲まれた公園の中には、確かに大人は少ない。この公園のすぐ傍らの電柱には行方不明になった少女の顔写真と特徴が書いてあるビラが貼ってあった。(写真ウ)

Dog control area / Leasing law enforced / Please clean up after your dog

サウスリートの港に沿って歩ける細い道がある。ここは犬を連れて散歩をすることができる。飼い主のマナーとして犬の糞の後始末は当然のことだが、このようにビニール袋まで用意されていて、なんて親切な所なのだろうと思った。(写真エ)

Row

駐車場の位置を知らせる呼称。原義はひも、細長い切れ。劇場などの座席の列に使われることがある。

### (3) カード

アメリカはカード社会である。誕生日やクリスマスなどには、大切な人や家族には必ずカードを送り、自分が元気であることを伝えたり、相手の幸せを祈ったりするのである。店にもとても数分では見きれないほどのカードが、しかも使用目的別、送る相手別に並んでいる。

私自身小さい頃からカードに興味を示してきた。そして、アメリカの店で並んでいた莫大な数のカードの中から面白そうなものを集めてみた。(写真オ)

今回は誕生日カードに焦点を絞っている。相手の誕生日を単純に Happy Birthday とだけお祝いするのではなく、一言付け加えられている表現が興味深い。

XOXOXO! Sending you HUGS, Sending you KISSES... / Sending you all my happiest wishes! Happy birthday

オーソドックスな表現だが、日本人がつい照れてしまう kiss や hug という表現がはっきりしている。日常的に kiss や hug が行われるアメリカゆえの表現。

You're another year older! / See the candles burning bright! / Blow them out with all your might! / Just ONE breath to get it done! / Splendid! Now call 9-1-1!

一息でキャンドルの明かりを消した後、カードをめくると子犬が倒れている。警察の緊急電話番号は 911 である。これは全米共通のものである。

Whaaaaaaaaaaaaaaaaaaaaaaaaaatsup? / I mean beside your age. Happy birthday  
確かにひとつ年をとっただけのことである。